

第十四回國際勞働總會ニ於テ採擇セラレタル  
條約案ニ對スル處理案審査委員會

昭和七年十月三日(月曜日)本院事務所  
於テ開會

出席者

倉富議長

平沼副議長

審査委員長

富井顧問官

臨  
密  
院

機密院

古市顧問官

櫻井顧問官

鎌田顧問官

石井顧問官

水町顧問官

栗野顧問官

國務大臣

山本內務大臣

內田外務大臣

永井拓務大臣

説明員

堀切法制局長官

金森法制局參事官

松田外務省條約局長

張間外務書記官

福井外務事務官

丹羽社會局長官

赤松社會局部長

木村社會局書記官

櫻井社會局事務官

區密院

機密

齋藤社會局事務官

河田拓務次官

生駒拓務省管理局長

富田拓務書記官

笹川拓務書記官

石川臺灣總督府事務官

二上書記官長

堀江書記官

武藤書記官

(午前十時開會)

富井審査委員長開會ヲ宣ス

山本内務大臣ヨリ本案ノ大要ニ付説明アリ

鎌田顧問官ヨリ第一條約案採用ノ理由ノ不適當

ナルコトヲ指摘シ丹羽説明員トノ問ニ數次ノ問答アリ

櫻井顧問官ヨリ外國ニ於ケル強制労働ノ事例ヲ問

ヒ丹羽説明員ノ説明アリ

古市顧問官ヨリ賦役ノ有無ヲ質シ内務拓務兩大臣

編

ヨリ答辯アリ更ニ同顧問官ヨリ商業労働時間ノ  
改善ニ關スル當局ノ方針ヲ問ヒ丹羽説明員ヨリ答  
辯アリ又鎌田顧問官ヨリ営業時間短縮ノ必要及  
利益ニ付所見ノ陳述アリ

富井委員長ヨリ第一條約案採用ノ理由ハ之ヲ修  
正スルヲ可トセスヤトノ發言アリ鎌田顧問官之ニ  
賛成シテ所見ヲ述フ之ニ對シ丹羽説明員ヨリ原  
案固執ノ辯明アリ松田説明員ヨリモ辯明スルトコ  
ロアリ

水町顧問官ヨリ誤解ノ虞ヲ除ク為メ條約案採

用ノ理由説明文中ニ數字ヲ加ヘテハ如何トノ質問  
アリ

栗野顧問官ヨリ強制労働ナキ我國モ本條約ニ加  
入スルノ必要アリヤトノ質問アリ丹羽説明員トノ問  
ニ問答ヲ重ヲ

二上書記官長ヨリ從來條約案採用ノ場合ニハ理  
由ヲ記セサルヲ例トスル旨ノ説明アリ

石井顧問官ヨリ御諮詢外ナル處理案ノ文句如何  
ハ不問ニ付シテ可ナラスヤトノ陳述アリ二上書記  
官長ヨリ處理案ハ御諮詢ノ目的物ナル旨ヲ辯明ス

富井委員長ヨリ文句ヲ挿入スルコトヲ不可トセハ之  
ヲ簡潔ニスルモ可ナルヘシトノ注意アリ内田外務大  
臣ヨリ修正ノ手續ヲ執ルヘキ旨ヲ言明ス  
次テ同委員長ヨリ列國ノ批准狀況ニ付質問アリ丹  
羽説明員ノ答辯アリ古市顧問官ヨリ英、佛文ニ相  
違アル場合ニ關シ質問アリ松田説明員之ニ答フ  
右終テ富井委員長ハ質問終了ト認メ國務大臣  
及説明員ノ退席ヲ求ム

(國務大臣及説明員退席)

委員合議ノ結果本案ハ處理案ノ文句ヲ除キ此  
ノ儘全會一致可決スルコトニ決シ處理案ノ修正及  
報告書ノ作成ハ之ヲ委員長ニ一任スルコトニ決ス  
富井委員長閉會ヲ宣ス

(午後十一時四十分閉會)

大藏省官制中改正ノ件審査委員會

昭和七年十月二十九日(土曜日)本院事務所  
ニ於テ開會

出席者

倉富 議長

審査委員長

黒田 顧問官

審査委員

櫻井 顧問官

秘  
密  
防